

LCC News Letter 22

同志社校友会大阪支部産官学部会LCC

5 January 2012 (文責：北出 至)



本年は“昇り竜”の如く！

明けまして おめでとうございます！

昨年は「1000年に一度」と言われた東日本大震災を経験し、今なお復旧の目処が立っていない状況ですが辰年の今年、必ずや見事な立ち直りを世界に示す“昇り竜の年”になるものと確信いたします。

その中で、設立満7周年を迎えますLCCの“L”は、リエゾン (Liaison)「橋渡し役」を意味しますが、団体名の通り「大学と社会」「現役学生とOB」などを相互に結ぶのが私達の使命と考えています。

LCC活動の中心であるDBS (ビジネススクール) など大学の存在を社会へ向けPRするという従来の役割に加えて、今年は「日本の未来を担う学生」とOBが、可能な限り接する機会を作るよう配慮したいと思います。

同志社大学のアイデンティティは「良心教育」ですが、前執行部は母校の“誇り”を示すため、通常の例会の中に「LCC新島塾」を設けました。現在もその遺産を大切に踏襲しております。「建学の精神」や大学の歴史を語り、また、現教授陣らによる研究など大学の知的財産を学生と共有し、触れ合うことも必要と考えます。

ところで、平成25年のNHK大河ドラマの主人公は「新島八重」です。これにより、新島襄や同志社の名が、全国に広く知られることになると思いますが、現役学生にとっても、我々OBにとっても非常に誇らしことです。

事前の予備知識として、恒例の3月例会「LCC新島塾」では、同志社大学神学部本井康博教授に「新島八重と山本覚馬」(仮称)と題して、ご講演をいただく予定です。

一月LCC定例会ご案内

◆日時：

平成24年1月16日(月)
午後6時30分より

◆場所：

同志社大学大阪サテライト
キャンパス (大阪市北区梅
田2丁目1-22野村不動
産西梅田ビル9階)

◆講演と紹介

1. 世界の各人種の考え方にあなたはグローバルに、どのように対処すべきか？
株式会社
ジェイアンドシー企画
代表取締役 長澤慶和氏

2. 「砂時計の時間～鳴り砂のシンボル 仁摩町一年砂時計～」
志波靖磨氏

3. 「真珠の首飾り」
同志社大学社会学部社会学
科四回生 川 恵美さん

詳細について事務局より既にご連絡済みです。以上